

■枚方市新庁舎整備基本構想（素案） パブリックコメントの主な意見と市の考え方（案）

意見募集期間	2021（令和3）年1月4日から2021（令和3）年1月23日まで
意見提出者数	112名
公表意見数	256件 ※1枚の意見提出用紙に複数の意見を記入されている場合は区分ごとに振分け、類似の意見については、まとめて記載しています。

区分		意見要旨	件数	市の考え方（案）
基本構想に関する内容	新庁舎の規模について	1 ・身近なところに支所を設け、すべての手続きが可能になるとよい。 ・将来の電子化に対応した支所機能、地域サービス拠点を拡充してコンパクトで市民が利用しやすい市役所を望む。 ・高齢者や障がい者が行きやすいように支所の細かな配置が必要である。	16	総合窓口の取り組みの進展やフリーアドレス、テレワーク等の動向を踏まえた執務スペースの精査に加え、文書管理システムや電子決裁、電子申請によるペーパーレス化の推進等により文書量の削減、書庫の縮減を目指す考えであり、一部文言を修正します。さらに、今後もICTを活用した市民サービスの向上などの検討を行っていく考えです。
		2 ・新しい庁舎では、分散された様々な機能を集約し、ランドマーク的な存在となる高層ビルを希望します。	1	来庁者が目的によって複数の庁舎に行く必要があり、職員にとっても施設間の移動が必要となることから、行政サービスのみならず事務効率の観点からも課題となっています。新庁舎では、市民ニーズが多様化・複雑化していく中で、これまで以上に組織（部署）を横断した取り組みが必要となるため、意思疎通を速やかに図れるよう、一部の部署については集約の対象から外しますが、分散している庁舎機能を集約していく考えです。
		3 新庁舎の規模の算定に多目的スペースや交流スペースが含まれていない。	1	多目的スペースについては、P20「⑬その他諸室」で、新庁舎規模の算定上、多目的スペース500㎡を計画しています。また交流スペースについては、待合いスペースやロビーなどを工夫しながら気軽に談話等ができるようスペースの設置を検討します。
	新庁舎の基本方針について	4 ・新庁舎のコンセプトを明確にしておくことも必要ではないか。 ・市民と十分な話し合いも出来ていないのに庁舎整備や駅周辺再整備をなぜ急ぐのか。 ・資料のデータ化など社会状況の変化への対応やコロナ禍のもと、どういう庁舎が必要か議論が必要ではないか。	1	本構想では、現庁舎が抱えている様々な課題の解決に向け、市民共有の財産として多くの市民から親しまれ、安全・安心な暮らしを支える拠点として、その役割と機能を十分に発揮できる施設となるよう、「第2章 新庁舎整備の基本方針」及び「第3章 新庁舎の機能と規模」において新庁舎整備の基本方針とその内容を示しています。

区分		意見要旨	件数	市の考え方（案）
基本構想に関する内容	新庁舎の基本方針について	5	2	<ul style="list-style-type: none"> 基本方針4「環境にやさしい庁舎」においては、自然エネルギーの有効活用、省エネルギー設備の導入など環境負荷低減に資する庁舎を目指しております。なお、平時や災害時に雨水の貯留の有効性などの詳細については、今後の基本計画や設計段階で検討します。 基本方針1「安全・安心な暮らしを支える庁舎」においては、大規模な地震や浸水害などの大規模災害時でも耐震性と安全性に優れ、エネルギーの安定供給等により行政機能が確保できる庁舎を目指しております。引き続き、浸水対策として敷地の地盤を嵩上げや低層階等に設備等を配置しないことなどを検討します。
		6	1	基本方針3「まちづくりに寄与する庁舎」においては、周辺環境や景観に調和した、枚方市を象徴する庁舎を目指しています。
		7	1	便利で豊かな暮らしを実現するスマートシティの推進に向けて、分かりやすく誰もが使いやすい利用者中心のデジタル化を進め、行政サービスの利便性や質的向上を図ります。また、ICT・IoTを活用した都市機能の効率化・強化（スマートシティ）を通じて、地域課題の解決を促進します。
		8	1	基本方針1「安全・安心な暮らしを支える庁舎」では、市庁舎が防災拠点として、災害対策活動の中核としての役割を果たすことや、市が保有する個人情報に対する情報の高度なセキュリティ機能を確保した庁舎により、市民の安心な暮らしを支える考えとして明記しています。
		9	1	基本方針2「誰にでも親しまれる庁舎」においては、多目的スペースやエントランス・ロビー・情報コーナーや議会図書館などを配置することにより、市民交流や活動を支えるためのスペースを備えた庁舎を目指しています。なお、各諸室の詳細については、今後の新庁舎整備基本計画の策定段階で検討します。
	新庁舎の機能について	10	10	<ul style="list-style-type: none"> 機能1「防災機能」において、高い耐震性の確保や浸水対策など、災害発生時において、速やかな対応と対策が取れる防災拠点の整備や、関係機関・部署との連携などを含め危機管理体制の強化を目指しています。なお、災害時における庁舎前の屋外広場や情報伝達手段等の詳細については、今後の基本計画や設計段階で検討します。 浸水対策として敷地の地盤を嵩上げや低層階等に設備等を配置しないことなどを検討します。

区分		意見要旨	件数	市の考え方（案）	
基本構想に関する内容	新庁舎の機能について	11	<ul style="list-style-type: none"> ・庁舎機能は分散させず、ワンストップで土木や公園関係の事務等も出来る様にするべきである。 ・市庁舎の建替えは必要なので今後50年先の事を考えて作ってほしい。できる限りワンストップの窓口にしてほしい。 	2	機能2「窓口機能」においては、市民の利用頻度が最も高い機能であるため、安全性、利便性に配慮した空間の整備や手続きのワンストップ化に向け、デジタル申請への対応やICTを活用したサービスの向上を目指します。
		12	<ul style="list-style-type: none"> ・議会の傍聴席は理事者と議員両方が見渡せる構造にするべきである。 ・本会議場のほか委員会質疑でもインターネット中継の環境が必要である。 ・協議会形式の会議を行える施設の脆弱性が浮き彫りになったことも踏まえ、議場を会議室などにも使える多目的型にしてはどうか。 ・市民も利用しやすい議会図書室を拡充してほしい。 ・傍聴席は広さや活用性、利用しやすさを最優先して、誰もが気軽に傍聴できるようにしてほしい。 	5	機能3「議会機能」については、傍聴など市民の市政参画を促し、意思決定を図る場にふさわしい空間の整備を目指すため、引き続き、他市の先行事例等も参考に詳細を検討します。
		13	<ul style="list-style-type: none"> ・市庁舎に図書館分館や集会所機能、展示スペースを作してほしい。 ・市政情報コーナーや市民交流スペースとともに、インキュベーションルームや小集会室もあればよい。 ・テレワークや自習ができるフロアがあるといい。 ・庁舎内に市民活動ができるホール（部屋）を設けてほしい。 ・市有地を活用して市民の活動センターを新庁舎と合築建設してほしい。 	5	機能5「交流機能」については、様々な情報が容易に得られ、市民間の交流が生まれるような開放的な空間の整備を目指しています。庁舎内には多目的スペースや市民の交流できるスペースの設置を検討します。
		14	「環境機能」について、大阪府が奨励している高機能換気設備の導入も積極的に取り入れてはどうか。	1	機能6「環境機能」については、行政が先導する役割として、地球温暖化対策の取り組みや緑化の推進を目指しています。なお、利用者が快適で環境負荷の低減につながる室内環境を検討します。
		15	公共事業としての運営コストを意識し、維持管理負担を軽減するには、付帯事業を十分に検討が必要であり、スペースを利用した活動の促進するべきである。	1	機能7「付帯機能」において、民間のノウハウを活用し、例えば銀行ATMやコンビニエンスストア等、市民の利便性の向上につながる付帯施設の整備するものとしています。なお、詳細については、今後の基本計画や民間事業者の提案を受けながら検討します。
		16	「共通機能」について、感染症対策や停電時も想定して十分な換気ができる窓が開閉できるようにするべきである。	1	機能8「共通機能」については、全ての利用者が不便なく、快適に施設を利用できるように配慮してまいります。なお、利用者が安全で快適に利用できる室内環境を検討します。

区分		意見要旨	件数	市の考え方（案）
基本構想に関する内容	新庁舎の機能について	17	2	<ul style="list-style-type: none"> 機能9「交通機能」においては、公共交通機関の利用促進とあわせ、適切な駐車場台数等を確保していく考えです。なお、バイク置き場も含めた来庁者用駐輪場の詳細については、今後の基本計画や設計段階で検討します。 料金の考え方については、今後、新庁舎の整備とあわせて市役所の運用面等も検討してまいりますので、ご意見はその際の参考とさせていただきます。
		18	1	機能10「特有機能」においては、周辺のまちの状況を踏まえ、枚方市特有の良さを感じられるとともに、市民が誇れる拠点の形成となるよう、詳細については、今後の基本計画や設計段階で検討します。
		19	5	1) 庁舎機能を集約する考え方において、新庁舎では、市民ニーズが多様化・複雑化していく中で、これまで以上に組織（部署）を横断した取り組みが必要となるため、意思疎通を速やかに図れるよう、分散している庁舎機能を集約します。しかし、③街区のまちづくりとあわせて枚方市駅前行政サービスの再編の取り組みや、業務の中には、取り組み内容の独立性が高く、現在の配置においても特段の支障をきたさない部署や市民の利用促進や災害時のリスクを分散すること、公共施設のマネジメントに伴う既存施設の有効利用を図る観点から、一部の部署については、新庁舎機能の集約の対象から外します。また、枚方市駅前行政サービスの再編に伴い保健センターの機能の移転後に、現保健センター内に保健所機能に移転し、市立ひらかた病院等との連携を強化していく旨を追記します。
	新庁舎の事業手法について	20	1	事業手法において、事業手法を比較・検討した結果、次の点から総合的に判断すると、官民連携によるDBO方式やPFI手法は、新庁舎整備に際して効果があると考えます。なお、要求性能水準書等の詳細については、今後の基本計画の策定段階で検討します。
		21	1	適正な庁舎規模や整備にかかる費用については、ICTを活用した窓口サービスやフリーアドレス・テレワーク等の動向を踏まえ、執務スペースや書庫などの適正化にとあわせて、引き続き他市の先行事例等も参考に検討します。
		22	1	目標スケジュールと今後の進め方については、今後は、DBO方式やPFI手法を活用する際の要求性能水準書や基本設計の与件となる「枚方市新庁舎整備基本計画」の策定に向けて、本基本構想の具体化や整備スケジュールの精査をはじめ、施設の維持管理業務及び運営などの検討を行います。なお、その策定期間については、④⑤街区のまちづくりの進捗や財政状況を踏まえながら判断します。なお、PFI等の事業手法の詳細については、今後の基本計画で検討します。

区分		意見要旨	件数	市の考え方（案）
新庁舎の事業手法について	23	新庁舎の使用期間はより長期間になるので、15年経過後の維持管理費を含めたシミュレーションを行い事業方式を決定すべき。	1	基本方針5「効率的で機能性に優れた庁舎」では、維持・管理コストの縮減や長寿命化につながる持続性の高い庁舎を目指しています。なお大規模修繕については、建物の詳細設計と密接に関係することから、新庁舎の設計段階で検討していく考えです。
	24	民間の事業は条例・法律の範囲内は自由であり、自治体がフロアを必要なら民間から購入すればよい。	1	ご意見として承ります。
基本構想に関する内容	25	<ul style="list-style-type: none"> ・現地での建て替えをしてください。緑道や公園を守ってください。 ・現市民会館、大ホール跡に市庁舎を建てるのが一番現実的である。 ・市民と市役所は密接なもので駅から近いことが第1条件だと思いますから現在の位置周辺にしてほしい。 ・庁舎の建て替えは必要ですが、⑤街区は高齢者や足の悪い人には不便で苦痛なので、駅に近い場所に建て替えるのがベストです。 ・市庁舎と岡東中央公園が一体の④街区の方が「枚方市を象徴する庁舎」となると思う。 ・なぜ現在の位置で建て替えをしないのですか。 ・市民ワークショップの「駅から近くて便利」「一つの庁舎が望ましい」の意見からも④街区に建てることを求めます。 ・「高齢者や障害者など利用者にやさしいユニバーサルデザインの庁舎」とあるがアクセスについて触れられていない。アクセスが悪化する⑤街区ではなく、③街区や④街区に市、府、国の窓口や郵便局を集約することで、アクセスの容易さ、利便性の向上、事業費の削減につながる整備とすべき。 ・行政サービスの再編の項の「具体化に向けて」は何を検討されているのでしょうか。素案では、現在の改札口前に位置する行政サービスから後退しています。サンプラザ1号館・3号館の計画も含めて検討し、機能を分散せず今の岡東中央公園に接続した市有地を活用しゆったりとした市役所の建設が必要である。 	65	<ul style="list-style-type: none"> ・新庁舎の位置については、2017（平成29）年8月に、国のPRE戦略に基づき「枚方市における国・府・市有財産最適利用推進連絡会議」において、府民センターが③街区に移転し、その跡地の⑤街区に国・市による合同庁舎を整備する方向で検討を進めていくことを確認しました。また、本基本構想と並行して策定する枚方市駅周辺再整備基本計画において、めざすまちの将来計画として最適な土地利用や施設配置を示すにあたり、生活サポート拠点である④街区と⑤街区に本庁舎を配置した場合の比較検討を行いました。その結果、国・府・市有財産の最適利用を図ることができ、公園・広場の拡充、賑わいの創出、回遊性や市民の利便性、防災面の向上といったまちづくりの観点や定住促進・交流人口、経済効果、市負担額などの面から⑤街区としており、一部文言を修正します。 ・P161）庁舎機能を集約する考え方では、市民ニーズが多様化・複雑化していく中で、これまで以上に組織（部署）を横断した取り組みが必要となるため、意思疎通を速やかに図れるよう、分散している庁舎機能を集約します。あわせて、新庁舎整備に先駆けて枚方市駅隣接の③街区に、⑤街区に移転する本庁舎の分室として駅前の利便性を活かした市民窓口の機能を拡充していく考えであり、庁舎分室（(仮称)市民窓口等）の記載に修正します。

区分		意見要旨	件数	市の考え方（案）
基本構想に関する内容	新庁舎の位置について	26 ・市民ニーズが多様化・複雑化していく中で、これまで以上に組織を横断した取り組みが必要となるために分散している庁舎機能を集約するのだから、新しい庁舎は、あえて一部の部署を分散する理由はない。	2	・P16「1）庁舎機能を集約する考え方」では、市民ニーズが多様化・複雑化していく中で、これまで以上に組織（部署）を横断した取り組みが必要となるため、意思疎通を速やかに図れるよう、分散している庁舎機能を集約します。なお一部の部署については、取り組み内容の独立性が高く、現在の配置においても特段の支障をきたさない部署や市民の利用促進などの観点から、新庁舎機能の集約の対象から外します。また、市民の利用頻度の高い転入手続きなどは、枚方市駅前の利便性を活かして、⑤街区に移転する本庁舎の分室として市民窓口の機能を拡充していきます。
	市民への説明等について	27 ・コロナ禍で市民との十分な話し合いをするには、説明会を中止ではなく延期して開催してほしい。 ・庁舎をつくるにあたって市民との合意をどう考えているのか。 ・市内の分散した会場で高齢者でも気軽に参加できる説明会を望みます ・市民の声を反映した新庁舎づくりをしてください。	22	新庁舎整備基本構想の策定にあたりましては、来庁者アンケートやワークショップ、パブリックコメントなど市民の皆様から多くのご意見をいただいておりますが、引き続き市民への周知に努めるとともに、今後、さらなる検討を進めるに際し、市民参画の手法を検討します。
その他	再整備事業全般について	28 川原町を再開発区域から除外したのは何故か。	1	枚方市駅周辺再整備基本計画（素案）では、本市の財政状況やまちづくりの方向性、地域の特性、主な地権者の状況などを踏まえ、効果的・効率的に実現していく観点から街区を設定していますが、街区内だけでなく川原町などの周辺エリアと連携してまちの魅力向上を目指しています。
		29 ・駅前の高層マンションは景観、風向き等威圧感を感じます。貴重な緑地広場に当てるのは非常に残念ですので再考してください。 ・大規模な商業施設が増えるばかりで市民の居場所がなくなるのはおかしい。 ・市駅前の公園はいこいの場、やすらぎの場になっており、枚方市の魅力の1つなので存続・拡大してほしい。 ・駅に近い市民会館などの跡地は図書館、市民会館、市役所、公園などに使うべき。 ・市民会館の跡地は大災害に備えて緑地化して活用するのも一つの考えだと思う。	7	現在、本庁舎が位置している④街区については、公園や広場を拡充するとともに、そうした空間と一体的に生かした賑わいや地域活力の創出に寄与する商業・業務・子育て・教育・健康・文化芸術・スポーツなどの機能の誘導をします。具体的な内容につきましては、来年度、市民意見の聴取などにより検討を進める考えです。

区分		意見要旨	件数	市の考え方（案）	
その他	再整備事業全般について	30	2	<p>・市駅前との開発と連動した事業として捉え、その役割を果たすことが重要である。</p> <p>・先ずまちづくりの計画全体を進めるため必要性の度合いを考え、何を優先的に進める事が大事。</p>	<p>枚方市駅周辺再整備基本計画に基づき、⑤街区から南側地域の土地利用の促進や川原町・宮之阪方面等へ回遊できる快適な歩行空間の創出するほか、③街区において枚方市駅前行政サービスの再編に取り組むことで、早期実現に加え駅直結の利便性や施設の特性を生かした相乗効果による行政サービスの質の向上を図るなど、新庁舎整備が枚方市駅周辺再整備と密接に連動した事業として取り組んでいく考えです。</p>
		31	25	<p>・現庁舎、市民会館は市民が行きやすく、大切な市民の財産なので、売却する事なく活用してほしい。</p> <p>・市民の財産である市有地を民間に売るのはやめるべきである。</p> <p>・現庁舎、市民会館、大ホール等が売却された場合、その跡地は企業の計画が市民の意向とはかけ離れたものになるのではと懸念します。売却せずに市民にとって有効活用できる計画に見直してほしい。</p> <p>・現役世代を増やす為にも中身のある住んで良い街、心地よい街への計画を願います。</p> <p>・コロナが終息してから、社会状況や財政状況の変化に基づいて検討するべき。</p>	<p>・市有地を含む民間活力導入エリアの具体化に際しては、まず基本計画を基に市民の意向などを聴取した上で、まちづくりのノウハウを有する事業者と連携しながら取り組む考えです。財源については、基金や起債、一般財源を充当するとともに、市有地の売却など市有財産の有効活用により確保を想定していますが、事業手法や事業費の精査による市負担の抑制とあわせて、さらなる行政改革を推進することで基金の増額をするなど、引き続き財源確保に努めます。</p> <p>・枚方市駅周辺再整備基本計画では、再整備を進めるにあたっては、市の財政状況や各街区の状況などを踏まえて段階的に進めていく考えです。</p>
		32	16	<p>・今はコロナなど市民の命のことを考えて巨大開発は見直すか凍結すべきである。</p> <p>・コロナも含めて災害が多く発生する昨今、財政調整基金を減らすことはやめて、市民サービスに使ってほしい。</p> <p>・いま市がやるべき事は、1日も早くコロナ禍収束に力をそそぐ事、市民の安心、安全な生活に力を集中すべきである。</p>	<p>本市及び枚方市駅周辺が抱える課題のひとつとして新型コロナウイルス感染拡大防止のための「新しい生活様式」や同様の感染症発生時にも市民生活を守るまちづくりの推進が挙げられます。今後、基本計画を基に、災害や感染症にも対応した強くしなやかで安全・安心に過ごせるまちを目指すとともに、昨今の急速なデジタル化に対応した未来都市の実現に向けて検討します。</p>
		33	1	<p>駅前全体の開発より、庁舎が最初の出発点ではないか。</p>	<p>現在、リーディングプロジェクトとして実施している文化芸術拠点の形成に向けた総合文化芸術センターの整備や、まちなか交流拠点などの形成に向けた③街区での市街地再開発事業にあわせて、今後、再整備基本計画を基に、魅力がある生活サポート拠点や安全・安心の拠点の形成に向けて連鎖型のまちづくりを進めます。</p>

区分		意見要旨	件数	市の考え方（案）	
その他	再整備事業全般について	34 <ul style="list-style-type: none"> ・賑わいや活性化とは物理的に人が通るだけでなく、まちづくりに積極的に関わる人が増えることで、それを支援し育てることが必要ではないか。 ・市駅前開発の観点と未来において「街の担い手を育てる」をコンセプトに中高生を中心とする活動の場をつくる等を提案します。 	2	まちづくりの担い手は、責任を持って、主体的により多くの方がまちづくりへ参画できる機会や場を創出し、継続した取組や将来のエリアマネジメントへの展開につなげていきます。事業者は、基本計画に沿ったプロジェクトを生み出し、民間ならではのノウハウを生かしながら、エリアの価値を高めていきます。市は、まちづくりの担い手や事業者などと連携・協力してまちの価値などを持続的に育むため支援を行うとともに、さらなるまちづくりの担い手となる人材発掘や育成、公共空間など既存ストックの利活用、適切な維持管理を通して、仕組みづくりや多くの方が主体的に関わり・取り組むといったエリアマネジメントの促進を目指します。	
	財源の使途について	35 <ul style="list-style-type: none"> ・再整備に膨大な税金をつぎ込むのではなく、いつ襲ってくるかわからない大災害、大地震にも対応できる予算づくりをすべきである。 ・財源確保のための窓口業務の民間委託、公立保育園の民営化、上下水道料金の福祉減免制度の廃止等々、市民負担を増やす計画は許されない。 ・今は医療の充実などコロナ対策を優先すべきである。 ・保健・福祉・教育・保育を直営で職員数を増やす公的責任の拡充が最優先です。 ・公共施設の統廃合の計画は、住民サービスの低下そのものであります。以前のように福祉を充実してほしい。 ・財源は経済が変動の中、購入から通販への移行、観光や店舗を訪れる人の減少などを踏まえて再考すべきです。 ・少人数学級や介護老人施策の公的支援など市民が安心できるお金の使い方にしてほしい。 	26	再整備を進めるにあたっては、市の財政状況や各街区の状況などを踏まえて段階的かつ着実に進めていく考えです。引き続き、行政改革の推進など財政健全化も踏まえ、市民サービス向上に向けた検討を進めます。	
		36	新庁舎整備基本構想に財政シミュレーションが示されておらず、財源確保のために、一層の「行政改革」のもとでの市民サービス切り捨てを考えているようです。	2	本基本構想を基に、引き続き新庁舎整備に向けた検討を財政シミュレーションやまちづくりの具体化にあわせて行います。
	公共施設の設置等に関する要望	37	保育所の民営化、児童会の民営化、学校統廃合等、教育や子育ての支援を充実してください。	1	ご意見として承ります。
		38	子育てしやすい街としての枚方の魅力をさらに高めるにも、一時預かり専用の保育ルームを公共で整備していただきたい。	1	

区分		意見要旨	件数	市の考え方（案）
その他	公共施設の設置等に関する要望	39 視覚障がい者や聴覚障がい者も映画が楽しめる施設（ユニバーサルシアター）を文化施設の中に是非加えてください。	1	ご意見として承ります。
		40 公共施設や駐車場の料金を無料にして市民の諸活動を保障すべきです。	1	
		41 ・市駅周辺に市民の心地よい居場所となるような図書館機能を設置してほしい。 ・駅近くの便利な場所の市有地を活用して、市民が交流や活動できる図書館(分室)や児童館、フリースペースなどを提供すべきである。	10	市駅前の図書館サービスについては、現在、市駅前サービススポットとして予約図書の受け渡しを中心に運営していますが、機能の充実が求められています。枚方市駅前行政サービスの再編の取り組みとして、（仮称）市駅前図書館の整備を目指します。
		42 市有地を活用して市民の活動センターを新庁舎と合築建設してほしい。	2	枚方市駅前の利便性を活かして、現サンプラザ生涯学習市民センターを移転しオープンする予定の（仮称）枚方市立生涯学習交流センターや（仮称）市駅前図書館の機能連携に加え、⑤街区に移転する本庁舎の分室として市民窓口の機能を拡充するとともに、保健センターで実施している一部機能を含め、子ども・子育て・高齢者への支援など各種機能の効果的な連携を図ります。
	その他意見	43 ・現在の市民会館の社会教育的な役割を持つ部屋をこれからも設置してほしいです。例えば、調理室、図書室、音楽室、工作室、学習室、談話室。 ・解体予定の市民会館に替わる市民の活動する場所を確保すべき。	3	枚方市市民会館については令和4年3月末で閉館しますが、その代替施設としまして、令和3年9月に総合文化芸術センターがオープンいたします。また、現メセナひらかた会館も諸室を増室し、2022年（令和4）年4月に総合文化芸術センター別館としてリニューアルオープンする予定です。現サンプラザ生涯学習市民センターを移転し、③街区でオープンする予定の（仮称）枚方市立生涯学習交流センターや（仮称）市駅前図書館とともに、使用用途に合わせて、4施設を有効的に活用していただく考えです。
		44 本事業に地元業者が入札に参加でき、市民に胸を張って説明できる公共事業に切り換えて下さい。	1	ご意見として承ります。
		45 生涯学習市民センター及び図書館は徹底した感染防止策を取り一日も早く開館して頂きたい。	1	
46 古くなっている生涯学習市民センターの改築をお願いします。楠葉の施設は昼でも薄暗く寂しいです。	1			